

令和 5 年度

津市工業用水道事業会計予算書

令和5年度津市工業用水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和5年度津市工業用水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給 水 戸 数	1 戸
(2) 年 間 総 配 水 量	360,000 m ³
(3) 一 日 平 均 配 水 量	984 m ³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		単位 千円
第1款 工業用水道事業収益		21,800
第1項 営業収益		21,780
第2項 営業外収益		20
支 出		単位 千円
第1款 工業用水道事業費用		25,373
第1項 営業費用		24,373
第2項 営業外費用		1,000

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第4条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用とする。

令和5年2月22日提出

津市長 前 葉 泰 幸

予 算 に 関 す る 説 明 書

令和 5 年度津市工業用水道事業会計予算実施計画

令和 5 年度津市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和 5 年度津市工業用水道事業予定貸借対照表

令和 4 年度津市工業用水道事業予定損益計算書

令和 4 年度津市工業用水道事業予定貸借対照表

令和 5 年度津市工業用水道事業会計予算実施計画説明書

Figure 1. The effect of the initial concentration of the monomer on the polymerization of α -methylstyrene initiated by TiCl_4 in CH_2Cl_2 at -78°C . The polymerization was carried out in the presence of 0.01 mole of TiCl_4 and 0.01 mole of CH_2Cl_2 in 10 ml of CH_2Cl_2 . The initial concentration of the monomer was varied from 0.01 to 0.1 mole/l. The polymerization was carried out for 10 min. The polymerization was carried out in the presence of 0.01 mole of TiCl_4 and 0.01 mole of CH_2Cl_2 in 10 ml of CH_2Cl_2 . The initial concentration of the monomer was varied from 0.01 to 0.1 mole/l. The polymerization was carried out for 10 min.

the 1990s, the number of people in the United States who are 65 years of age or older is projected to increase from 20 million to 30 million, and the number of people 75 years of age or older is projected to increase from 10 million to 15 million (U.S. Census Bureau, 1996). The number of people 85 years of age or older is projected to increase from 2 million to 4 million (U.S. Census Bureau, 1996). The number of people 90 years of age or older is projected to increase from 500,000 to 1 million (U.S. Census Bureau, 1996). The number of people 95 years of age or older is projected to increase from 100,000 to 200,000 (U.S. Census Bureau, 1996). The number of people 100 years of age or older is projected to increase from 10,000 to 20,000 (U.S. Census Bureau, 1996).

[illegible]

the 1990s, the number of people in the world who are under 15 years of age is expected to increase from 1.1 billion to 1.5 billion. The number of people aged 65 and over is expected to increase from 200 million to 400 million. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion.

1. *Journal of the American Medical Association*, 1997; 277: 1033-1036.

DOI: 10.1002/for

令和5年度津市工業用水道事業会計予算実施計画

収益的收入及び支出

収 入

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1 工業用水道事業収益			21,800	
	1 営業収益		21,780	
		1 給水収益	21,780	水道料金収入
	2 営業外収益		20	
		1 受取利息及び配当金	20	預金利息収入

支 出

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1 工業用水道事業費用			25,373	
	1 営業費用		24,373	
		1 原水及び浄水費	9,474	取水、導水、浄水施設の維持管理に要する費用
		2 総 係 費	13,299	事業運営の全般に要する費用
		3 減 価 償 却 費	1,599	固定資産減価償却費
		4 資 産 減 耗 費	1	固定資産除却費
	2 営業外費用		1,000	
		1 消費税及び地方消費税	1,000	消費税及び地方消費税

令和5年度津市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

単位 円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	△3,166,900
減価償却費	1,599,000
受取利息及び受取配当金	△20,000
未払金の増減額(△は減少)	593,900
有形固定資産除却費	<u>1,000</u>
小計	△993,000
受取利息及び受取配当金	<u>20,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	△973,000

資金増加額(又は減少額)	△973,000
資金期首残高	<u>185,137,210</u>
資金期末残高	184,164,210

令和5年度津市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

単位 円

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		1,650,000	
ロ 建 物	7,999,210		
減価償却累計額	<u>△7,387,339</u>	611,871	
ハ 構 築 物	98,934,483		
減価償却累計額	<u>△70,616,525</u>	28,317,958	
ニ 機 械 及 び 装 置	78,096,020		
減価償却累計額	<u>△74,049,469</u>	4,046,551	
ホ 工具、器具及び備品	360,000		
減価償却累計額	<u>△342,000</u>	<u>18,000</u>	
有形固定資産合計		<u>34,644,380</u>	
固定資産合計			34,644,380

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金	184,164,210	
(2) 前 払 費 用	<u>1,800</u>	
流動資産合計		<u>184,166,010</u>
資 産 合 計		<u><u>218,810,390</u></u>

負債の部

3 流動負債

(1) 未払金
流動負債合計

593,900

593,900

4 繰延収益

(1) 長期前受金
(2) 長期前受金
収益化累計額

1,657,500

△1,574,625

繰延収益合計
負債合計

82,875

676,775

資本の部

5 資本金

133,554,237

6 剰余金

(1) 利益剰余金
イ 利益積立金
ロ 建設改良積立金
ハ 当年度未処理欠損金

46,496,932

41,249,346

3,166,900

利益剰余金合計

84,579,378

剰余金合計

84,579,378

資本合計

218,133,615

負債資本合計

218,810,390

令和4年度津市工業用水道事業予定損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位 円

1 営業収益

(1) 給水収益	21,600,000	21,600,000
----------	------------	------------

2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	4,902,540		
(2) 配水及び給水費	1,159,092		
(3) 総係費	12,655,368		
(4) 減価償却費	1,661,000		
(5) 資産減耗費	1,000	20,379,000	
営業利益			1,221,000

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	20,000		
(2) 雑収益	100	20,100	20,100
経常利益			1,241,100
当年度純利益			1,241,100
前年度繰越利益剰余金			0
当年度未処分利益剰余金			1,241,100

令和4年度津市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

単位 円

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		1,650,000	
ロ 建 物	7,999,210		
減価償却累計額	<u>△7,239,339</u>	759,871	
ハ 構 築 物	98,935,483		
減価償却累計額	<u>△69,165,525</u>	29,769,958	
ニ 機 械 及 び 装 置	78,096,020		
減価償却累計額	<u>△74,049,469</u>	4,046,551	
ホ 工 具、器 具 及 び 備 品	360,000		
減価償却累計額	<u>△342,000</u>	18,000	
有形固定資産合計		<u>36,244,380</u>	
固 定 資 産 合 計			36,244,380

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金	185,137,210		
(2) 前 払 費 用	<u>1,800</u>		
流 動 資 産 合 計		<u>185,139,010</u>	
資 産 合 計			<u>221,383,390</u>

負 債 の 部

3 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

1,657,500

(2) 長 期 前 受 金
収 益 化 累 計 額

△1,574,625

繰 延 収 益 合 計

82,875

負 債 合 計

82,875

資 本 の 部

4 資 本 金

133,554,237

5 剰 余 金

(1) 利 益 剰 余 金

イ 利 益 積 立 金

46,496,932

ロ 建 設 改 良 積 立 金

40,008,246

ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金

1,241,100

利 益 剰 余 金 合 計

87,746,278

剰 余 金 合 計

87,746,278

資 本 合 計

221,300,515

負 債 資 本 合 計

221,383,390

令和5年度津市工業用水道事業会計予算実施計画説明書

収益的收入及び支出

収 入

款 項	目	節	予定額(千円)	備 考
1 工業用水道事業収益			21,800	
1 営業収益			21,780	
	1 給水収益		21,780	
		水道料金	21,780	水道料金収入
2 営業外収益			20	
	1 受取利息及び配当金		20	
		預金利息	20	預金利息収入

支 出

款 項	目	節	予定額(千円)	備 考
1 工業用水道事業費用			25,373	
1 営業費用			24,373	
	1 原水及び浄水費		9,474	
		燃料費	16	機械器具燃料費
		通信運搬費	219	専用回線使用料
		委託料	983	水質検査業務委託料ほか
		修繕費	4,844	施設修繕費
		動力費	3,327	取水・送水施設電力料
		材料費	55	施設修繕用材料費
		補償金	30	漏水等の補償費用
	2 総係費		13,299	
		備用品費	50	事務用備用品費
		燃料費	136	公用車燃料費
		印刷製本費	46	事務用印刷製本費
		通信運搬費	334	企業会計システムクラウドサービス利用料
		委託料	505	企業会計システムインボイス制度適用機能追加業務委託料ほか
		手数料	6	口座振替手数料ほか
		賃借料	353	公用車賃借料ほか

支 出

款 項	目	節	予定額(千円)	備 考
		修 繕 費	20	公用車修繕費
		保 険 料	38	自動車損害保険料ほか
		負 担 金	11,811	人件費負担金
	3 減 価 償 却 費		1,599	
		建 物 減 価 償 却 費	148	施設用建物減価償却費
		構 築 物 減 価 償 却 費	1,451	配水施設構築物減価償却費
	4 資 産 減 耗 費		1	
		固 定 資 産 除 却 費	1	固定資産除却費
2 営 業 外 費 用			1,000	
	1 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税		1,000	
		消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	1,000	消費税及び地方消費税

注記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法による
- ・ 主な耐用年数
 - 建物 18年～38年
 - 構築物 25年～40年
 - 機械及び装置 8年～20年
 - 工具、器具及び備品 5年

2 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

